

第8回 高松広域都市圏都市交通マスタープラン フォローアップ委員会

令和4年11月22日
香川県土木部都市計画課

1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

2 前回の委員会の整理

- ・これまでの経緯と今後のスケジュール
- ・県HPでの掲載状況

3 情報提供、報告

- ① 四国運輸局 : 情報提供(地域公共交通)
- ② 四国地方整備局 : 情報提供(立適・都市再生整備計画)
- ③ 香川県交通政策課 : 香川県交通需要予測調査
- ④ 高松市交通政策課 : 高松市の交通体系の再構築について
- ⑤ さぬき市 : さぬき市のGTFSデータの構築について
- ⑥ 丸亀市 : 丸亀市のまちづくりについて

- ・会議終了後、マルタス見学 → 商店街周辺確認しつつ現地解散



1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

①「高松広域都市圏都市交通マスタープラン」の背景

- ・人口減少・高齢化、環境問題、価値観の多様化、災害など、交通行動の変化を誘引する様々な事象が生じている。
- ・目指す将来都市像となる「持続可能なまちづくり」を実現する、「**目標達成型の計画**」が求められている。

②高松広域都市圏都市交通マスタープランの位置づけ

- ・土地利用と交通に関する施策によってまちづくり計画を支える総合的な計画とする。



1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○パーソントリップ調査とは

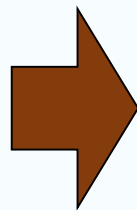
ある1日に外出したかどうか、また、外出した場合、「いつ」「どこに」「どのような交通手段で」移動したかなどについて、調査するもの。



○都市計画:集約型のまちづくりに向けて

これまでの都市では、市街地が拡散したことや、車社会が進んだことにより、公共交通利用者の減少、それに伴うサービスレベルの低下、また、中心市街地の衰退などが進んできました。

人口減少、超高齢社会の到来などを見据えると、都市機能の市街地への集約や公共交通の充実、郊外への新たな都市基盤(道路、上下水道など)整備を抑制することが必要です。

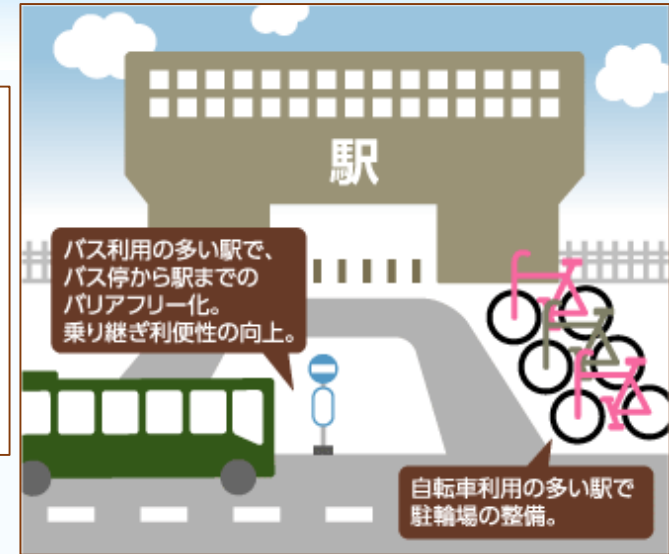


- ・ パーソントリップ調査では、どこからどこへ、どのような目的で人が移動しているかがわかります。
- ・ 人口減少・超高齢化社会の到来に対応した、地域の中心部に都市機能を集約させたまちづくりの検討に活用できます。

1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○交通計画：公共交通（鉄道・バス）の利便性の向上

- ・ 駅ごとに、どれだけの人々が、どのような交通手段を使って集まってきているのかがわかります。
- ・ 駅前での自動車・自転車・バスと鉄道との乗り継ぎの利便性の向上を図るため、交通結節点の改善計画などに活用できます。
- ・ 高齢の方などが、どこからどこへ移動しているかがわかります。
- ・ 市町コミュニティバスの計画などに活用できます。
- ・ いつ、どこからどこへ鉄道や路線バスが利用されているかわかります。
- ・ 鉄道の利便性向上（新駅設置、増便、スピードアップなど）や路線バス網の再編などの検討に活用できます。



○防災計画：災害に強いまちづくりに向けた避難計画

- ・ いつ、どこに、どれだけの人々が滞在しているかがわかります。
- ・ 災害時を想定した避難場所、避難経路など、円滑な避難のための検討に活用できます。



○環境対策：自動車交通による地球環境への影響改善（CO2排出量の予測など）

- ・ どれだけの人々が、どのような交通手段を使ってどの程度の距離を移動しているかわかります。
- ・ 自動車などの交通による今後のCO2排出量の予測に活用できます。



1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○香川県が目指すべき都市構造

○都市計画区域マスタープラン

⇒42の拠点から成る集約型都市構造を提言

○高松広域都市圏都市交通マスタープラン

⇒都市計画区域マスタープランを踏まえ、
パーソントリップ調査の結果などから抽出された課題に
対応するための施策を体系化。

○集約型都市構造への転換に資する施策体系

拠点内居住の促進

・拠点内の住居を魅力あるものにするとともに、拠点内への居住を促進します。

適正な土地利用コントロール

・拠点内と拠点外の土地利用を分けます。

拠点間連携軸の強化

・拠点と拠点を結ぶ交通を魅力あるものにします。

拠点(交通結節点)へのアクセス性向上

・一定のサービスを有する交通を確保します。

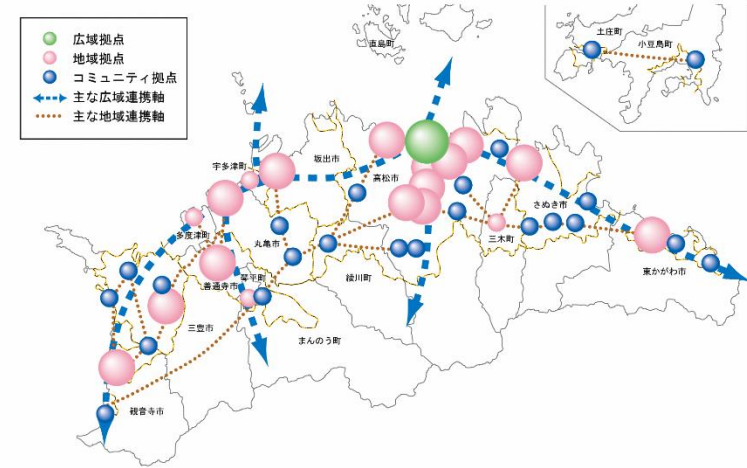
拠点内周遊環境向上

・拠点内の移動を便利にするための交通を確保します。

公共交通の利用促進

・公共交通を将来にわたって維持し、より魅力的な移動を促していきます。

■本県における集約型都市構造のイメージ（三層の集約拠点と都市軸）



土地利用と交通に関する 34施策メニューの提案 （「持続可能なまちづくり」 の方向性を示す）

【フォローアップの目的】

- 施策の進捗管理・評価
- 施策見直しの必要性が生じた場合の改善方針の検討
- 国、県、市町及び交通事業者が同一の方向性で施策を実施するための連携強化及び情報共有

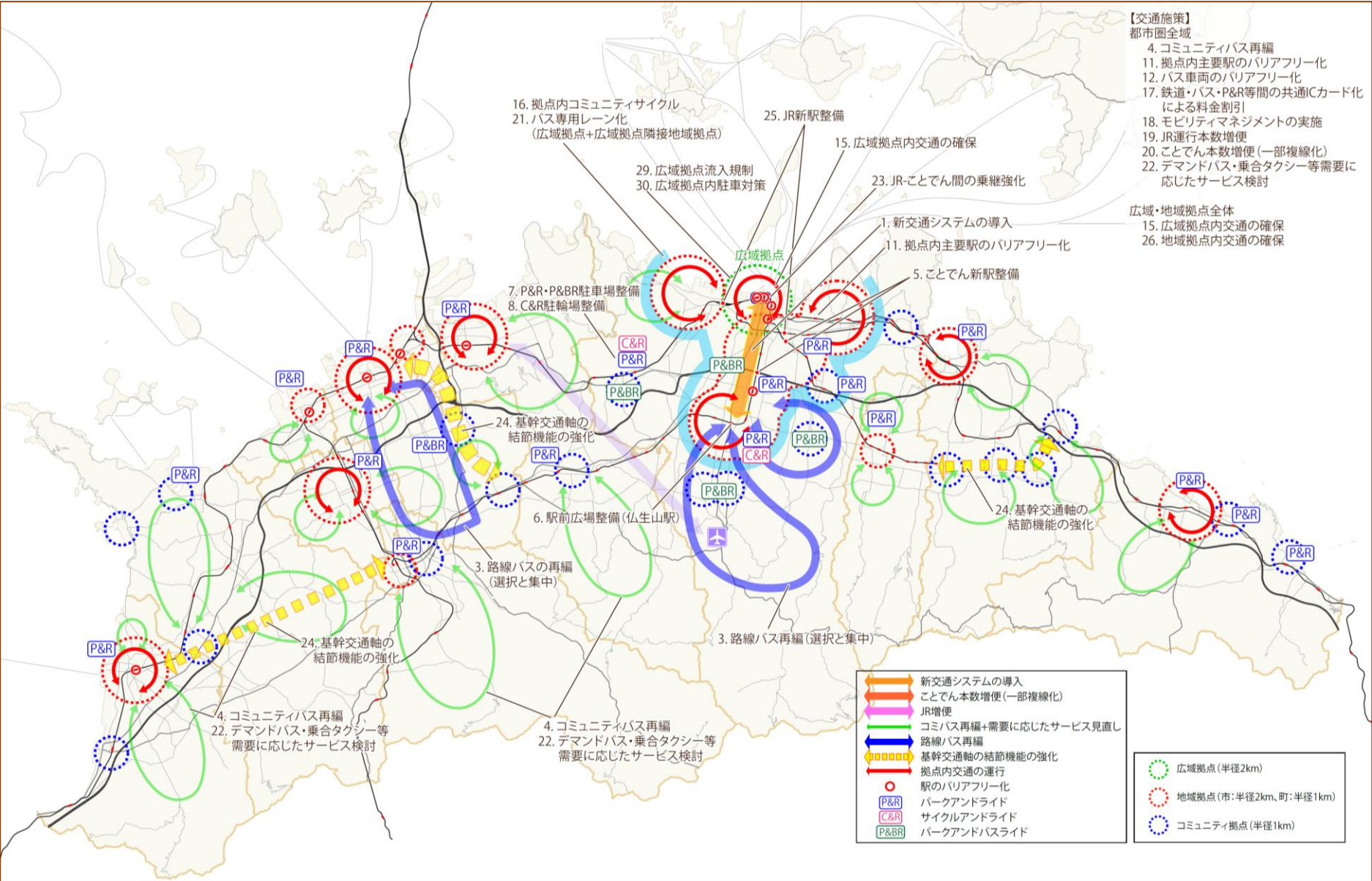
1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○マスタープランでは下記の施策体系を構築しており、これらについてフォローアップする



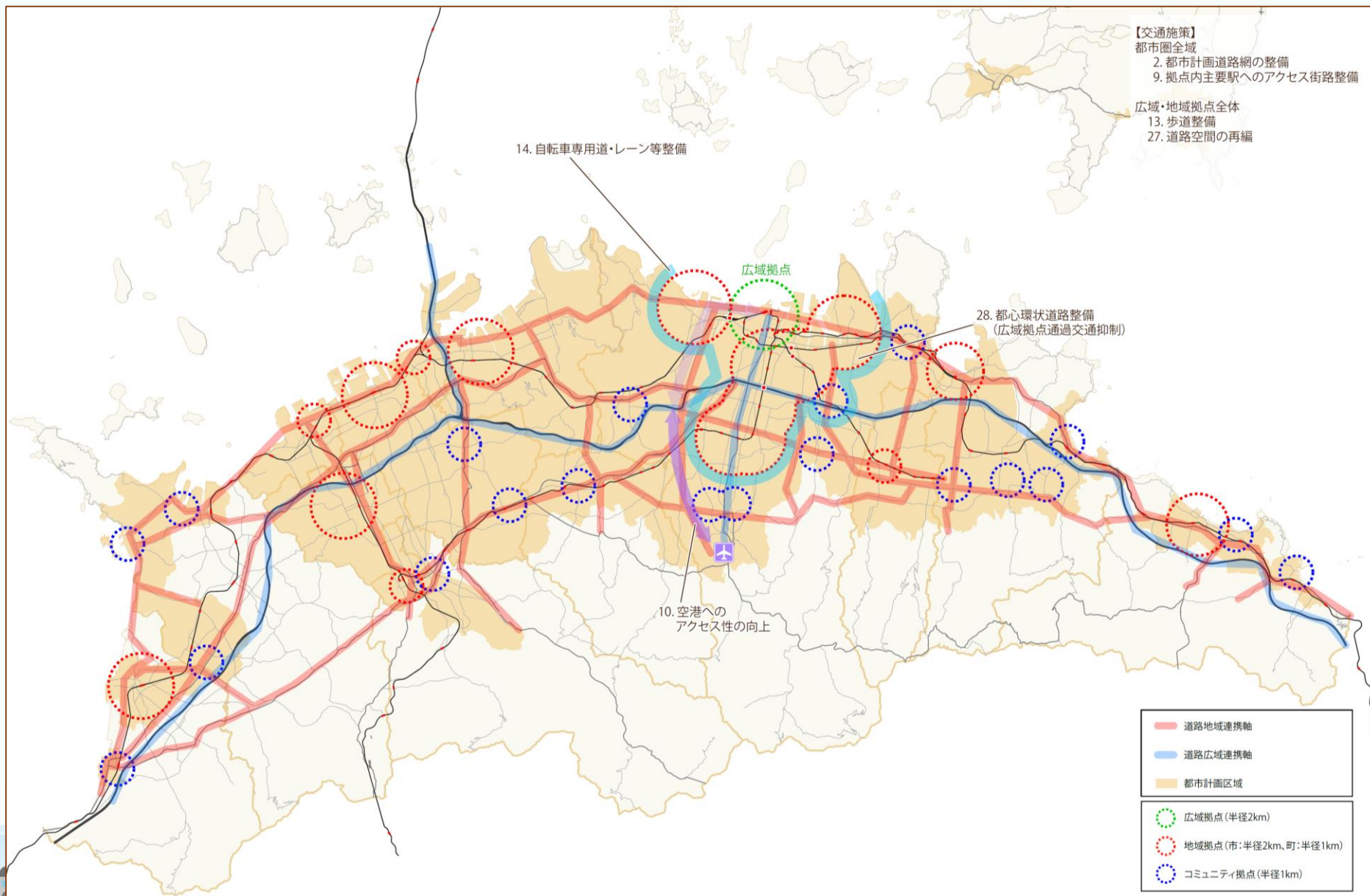
1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○公共交通網計画の施策の体系図



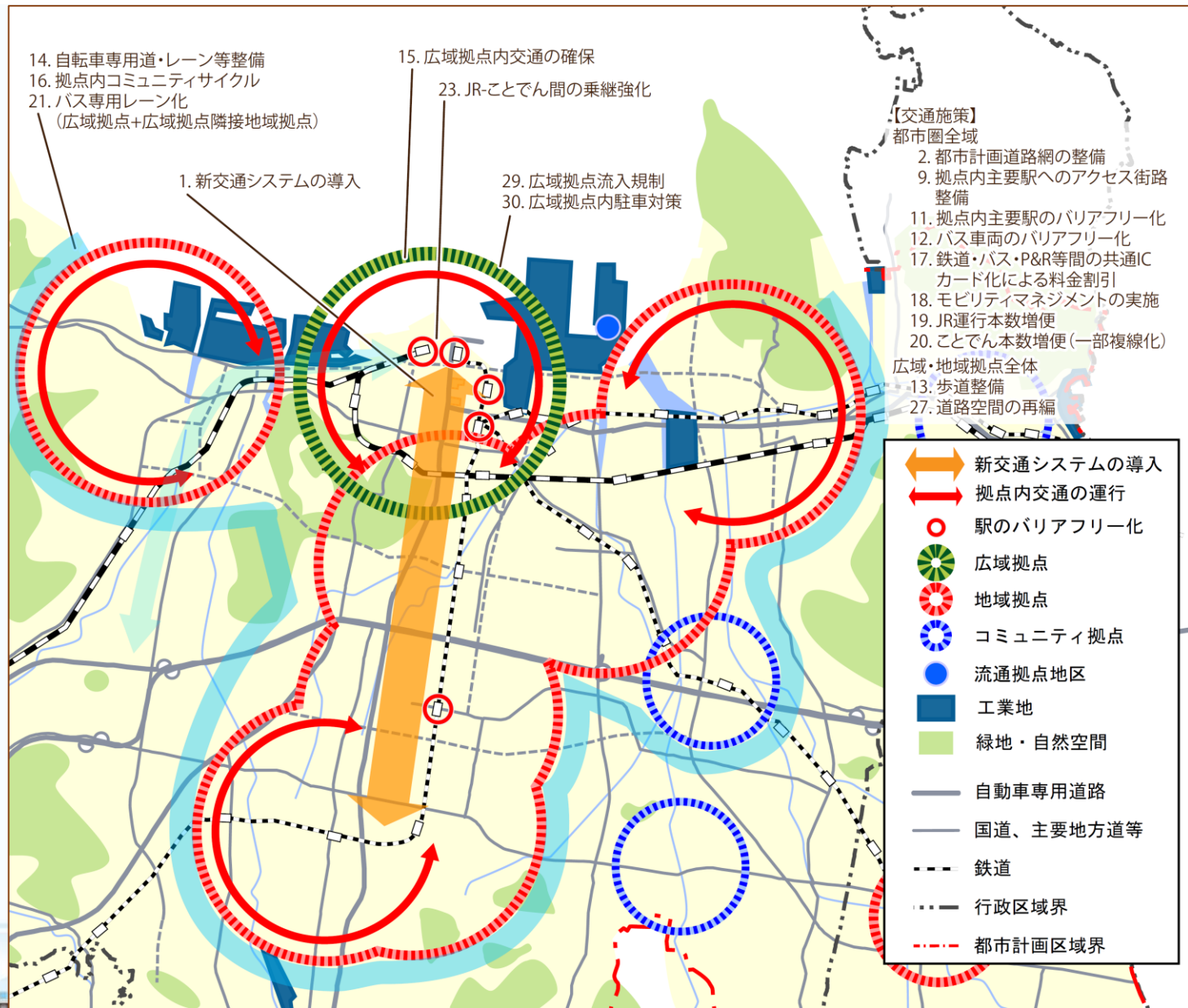
1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○道路網計画の施策の体系図



1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○広域拠点内の施策の体系図



1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○国、県、市町、交通事業者等が同一の方向性で施策実施を目指すための「仕組みづくり」

【高松広域都市圏都市交通マスタープランフォローアップ委員会】

情報発信

(都市＋交通)
まちづくりの連携強化・情報共有の場

国

市町

情報共有

県

交通
事業者

県民

情報共有

- 県内の施策実施状況、進捗状況の把握、
- 施策や都市構造の評価内容を共有
- アーカイブの蓄積

情報発信

- 代表的な取組事例の紹介
- インターネット等で情報を発信する。

委員会

勉強会

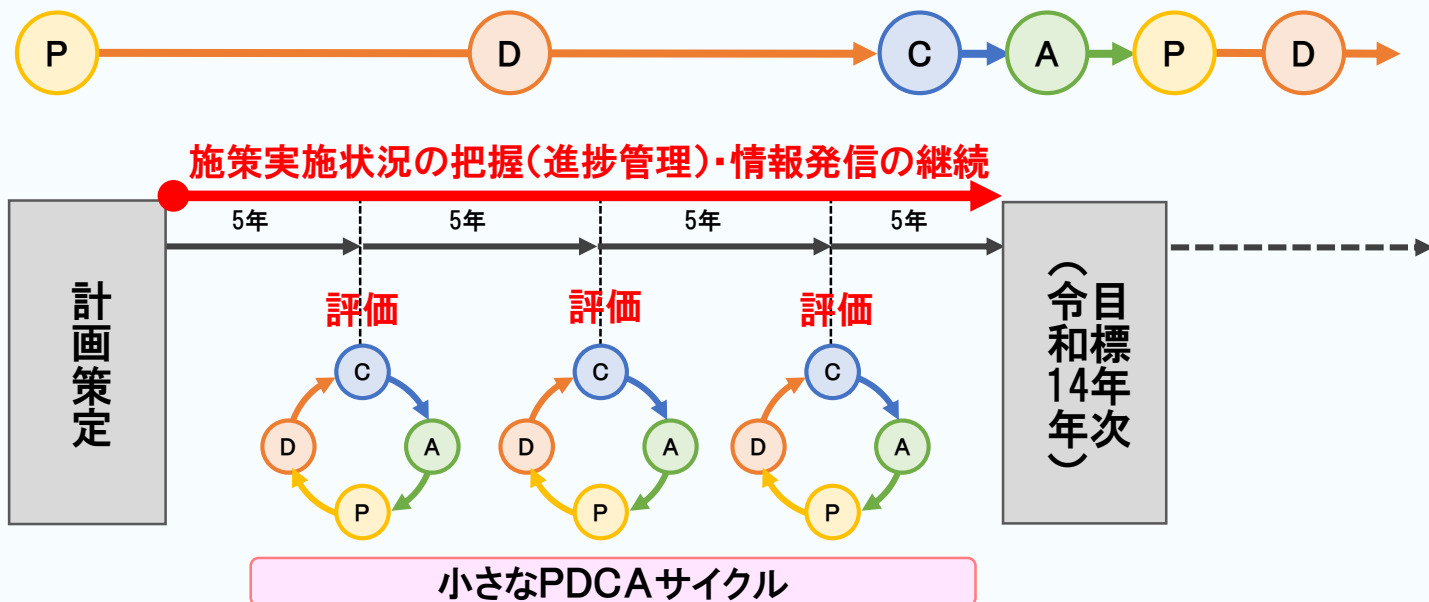
○委員会と勉強会の実施により、情報の共有、施策の促進を図る

○委員会の考え方を、市町の実務者にフィードバックする

1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

○ 下記のようなPDCAサイクルの確立

マスタープランの目標年次・・・令和14年



○ フォローアップの頻度

・進捗管理・・・1年毎

各事業主体における施策の進捗管理表を基に、毎年の進捗管理結果の情報共有
各事業主体における代表的取組事例の情報発信

・施策評価・・・5年毎

指標評価の結果を協議し、必要に応じ施策の見直し等を検討する（小さなPDCA）

○都市交通マスタープラン勉強会

- ・フォローアップ委員会を実務者にフィードバック
- ・既存の取組を活かしながら、柔軟に実施
- ・多度津町をモデルエリアとして「都市のスポンジ化」に着目したワーキングを実施

○第1回勉強会(H28.12)

- ・丸亀市の取組(リノベーションまちづくり)
- ・西予市の取組(立地適正化計画) 等

○第2回勉強会(H29.12)

- ・綾川町の取組(都市計画用途地域の検討)
- ・都市構造に関するワーキング 等

○第3回勉強会(H30.11)

- ・モニタリング指標の共有と課題認識 等

○第4回勉強会(R1.11)

- ・復興事前準備、国土強靱化計画 等

○第5回勉強会(R3.3)

- ・書面開催(情報提供)



(R2.2.18多度津町にてワーキングを実施)



○「実施施策一覧表」

実施施策に関するアンケート調査を集約し、「実施施策一覧表」に取りまとめた。

○「代表的取組事例一覧表」

アンケート調査のうち、各市町の代表的な取組について集約し、昨年の内容と比べ新たな取り組みや、継続的に検討しているものに着目し、施策毎の特徴的な取組を整理した。

【詳細は資料4をご覧ください】



1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて

例)資料4-1(実施施策一覧表抜粋)

11.拠点内主要駅の バリアフリー化	施策体系	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点(交通結節点)へのアクセス性向上 ・ 高齢者や身体障害者等の移動の支援 ・ 高齢者や身体障害者等の外出機会の促進
	想定される効果	
■市町名	各市町	
■事業年度(計画)	短期	
■想定される事業主体	ことでん・JR	
■具体的内容		

高齢者や身体障害者等の全ての人にとって、移動しやすい公共交通の利用環境を確保するため、拠点内主要駅にバリアフリー施設の設置、改修を実施。
エレベーター設置等による段差の解消、視覚障害者誘導用ブロック、車いす使用者対応型トイレ、ホームドアの設置等

実施施策一覧表【交通施策】

凡例	
	実施施策
	検討施策
	継続施策
	改訂等

施策	実施主体	実施計画										備考(R03末時点)			
		H26	H27	H28	H29	H30	R01	R02	R03	R04	R04以降				
11.拠点主要駅のバリアフリー化	JR四国														・みどりの券売機プラスの導入(栗林、志度、三本松、琴平)駅周辺整備も含めた多度津駅バリアフリー化に向けて、自治体と検討を進めていく予定 丸亀駅において、内方線付き点状ブロックの整備を実施 【参考】バリアフリー適合車の導入(特急気動車2700系:23両)
	ことでん		高田駅												仏生山駅のスロープ設置、視覚障害者誘導ブロック、多機能トイレ整備
12.バス車両のバリアフリー化	高松市														
	普通寺市														市民バスの一部にノンステップバスを導入
	バス協会														【ことでんバス】 ・中型ノンステップバス導入見送り 幹線系統補助4両(国・県補助) 準幹線系統補助1両(高松市補助) ・大型車両2両導入見送り 【琴平バス】 ・R3.9月中型ノンステップバス導入 幹線系統補助1両(国・県補助) ・R3.9月小型ノンステップバス導入 幹線系統補助1両(国・県補助) ・R2.9月小型ノンステップバス導入 幹線系統補助2両(国・県補助) 地域内フィーダー系統1両(国補助) 【大川バス】 ・R3.9月中型ノンステップバス車両1両導入(国・県補助)

2 前回までの委員会の整理


○議事 第6回高松広域都市圏都市交通マスタープランのフォローアップについて

- 1 第5回の委員会の整理
- 2 市町アンケート結果を踏まえた問題点の把握と対応策の整理
- 3 問題点に対する今回委員会での対応について
 - ・フォローアップ委員会について
 - ・都市交通MPの施策の実施について(善通寺市、三木町、宮崎先生)
 - ・交通事業者に望むことについて(JR、坂出市)
 - ・集約型都市構造の実現に向けた基本方針について(高松市)

○議事 第7回高松広域都市圏都市交通マスタープランのフォローアップについて (書面開催)

- 1 高松広域都市圏都市交通マスタープランについて
- 2 前回の委員会の整理
- 2 情報提供(四国運輸局・四国地方整備局)

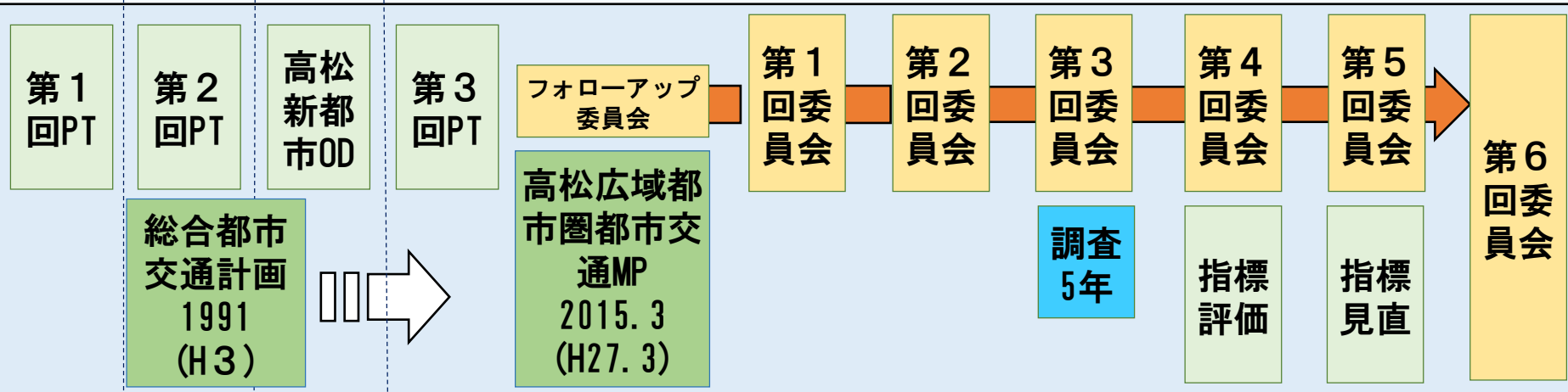
○委員からの意見等(抜粋)

- ① 交通マスの見直し等について
 - ② HP上等での情報共有
 - ③ 意見交換の場の確保
- 

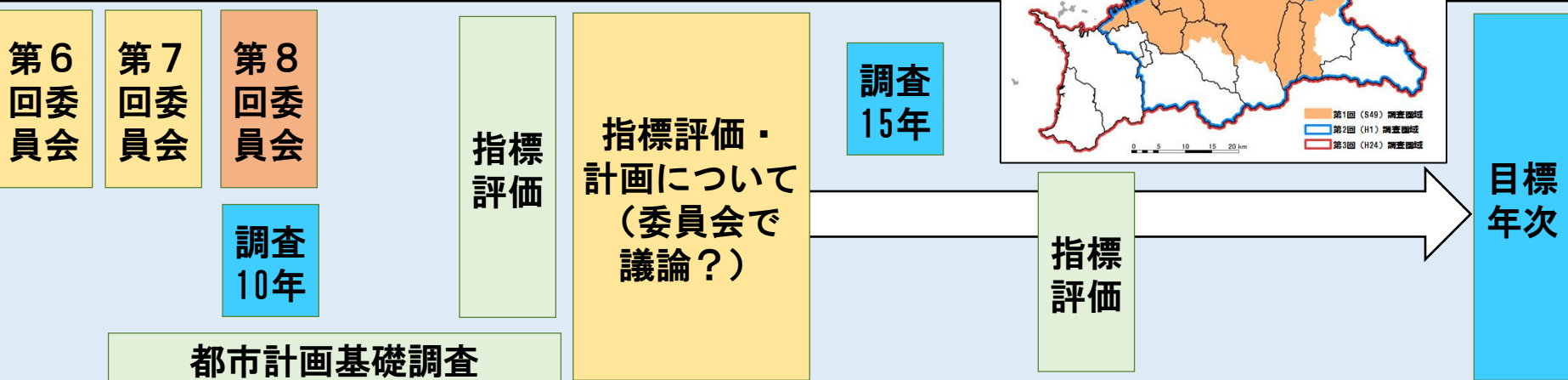
2 前回までの委員会の整理

○これまでの経緯と今後のスケジュール

1974 (S49)	1990 (H2)	1999 (H11)	2012 (H24)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (R01)	2020 (R02)
---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------



2020 (R02)	2021 (R03)	2022 (R04)	2023 (R05)	2024 (R06)	2025 (R07)	2027 (R9)	2032 (R14)
---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------



2 前回までの委員会の整理

○指標評価(第4回検討委員会(H30.10.31))

評価視点	モニタリング指標	評価指標	集約化	傾向分析
都市・ 地域経営	歳出・歳入額(比)	県歳出歳入比 96.6%→98.0%	後退	・歳出歳入比は上昇傾向にある
	目的別、性質別(民生費、土木費、 維持補修費)歳出額・人口あたり	一人あたり民生費 18.9千円→21.7千円	後退	・県市町民生費の一人あたりの費用は上昇している
		一人あたり土木費 80.8千円→83.2千円	後退	・県市町土木費の一人あたりの費用は上昇している
		一人あたり維持補修費 7.1千円→11.3千円	後退	・県市町維持補修費の一人あたりの費用は上昇している
	拠点内人口(構成比)	拠点人口構成比 44.40%→44.78%	進展	・拠点内への集積は進んでいる
地域活性化田 園都市生活	年間商品販売額(構成比)	拠点内販売額構成比 6.33%→5.19%	後退	・高松市南部、香川地区中心部を除き、すべての拠点で販売額は減少 ・香川県全体に占める拠点内の販売額の割合も減少している
	公共交通利用者数 (拠点内駅の乗降客数)	拠点内駅の乗降客数 11,216千人→11,411千人	進展	・拠点内駅の乗降客数は増加している
	公共交通利用者数 (1トリップあたりの移動距離)	拠点間の移動距離 19.2km→18.7km	進展	・拠点間の1トリップあたりの移動距離は減少している
交通網 利便性	アクセシビリティ・公共交通カバー エリア(30分圏人口カバー率)	カバー人口 29.2%→29.8%	進展	・高松広域拠点のカバー人口は増加している
	交通手段分担率(通勤・通学)	通勤自動車分担率 70%		・比較不可
交通安全・ 交通環境	交通事故発生件数	死傷者数 13,224人→7,579人		・交通事故死傷者数は大きく減少傾向にある
	CO2発生量	小型車CO2排出量 1,946→1,931kg-CO2/日	進展	・通勤の主交通手段と考えられる小型車のCO2排出量は減少している

2 前回までの委員会の整理

〇県HPの掲載状況

<https://www.pref.kagawa.lg.jp/toshikei/masterplan/pt/kfvn.html>

高松広域都市圏都市交通マスタープラン



取組の紹介

高松広域都市圏都市交通マスタープラン

第6回高松広域都市圏都市交通マスタープランフォローアップ委員会を開催します

施策促進の取組

取組の紹介

フォローアップ

マスタープラン

もっと見る

取組の紹介

香川県バス協会の取組の紹介

JR四国の取組の紹介

ことでの取組の紹介

まんのう町の取組の紹介

多度津町の取組の紹介

もっと見る

相談窓口 申請様式

よくある質問 採用情報

統計情報 入札情報

各市町・交通事業者の代表的な取組について紹介します。



- 高松市の取組
- 丸亀市の取組
- 坂出市の取組
- 喜多津市の取組
- 三木町の取組
- さぬき市の取組
- 東かがわ市の取組
- 三豊市の取組
- 香川県の取組
- JR四国の取組
- ことでの取組
- まんのう町の取組
- 多度津町の取組
- 香川バス協会

ことでん JR四国 香川バス協会

マスタープラン > フォローアップ > 取組の紹介 >

施策促進の取組 > トップページ >

最新情報

ことでん 実施標準(重点的取組) 総合的なモビリティマネジメントの実施
目的(コンセプト) ことでん等平線、長尾線、高尾線における利便性の向上

2015年度 利用乗客 17,098名

2015年度 コールセンターの取組状況

2015年度 乗客の満足度調査結果

最新情報

総合的なモビリティマネジメントの実施 (PDF: 792KB)

【高松市】ことでん新駅(太田～仏生山駅間)整備に係る考え方 (第3回委員会での概要)

立地適正化計画「都市機能」及び「居住」の統合と連携した拠点形成

具体的事業

- 駅前、駅周辺の臨海バス施設(バス)の整備
- 駅前(バス)の整備
- 駅前(バス)の整備
- 駅前(バス)の整備
- 駅前(バス)の整備
- 駅前(バス)の整備
- 駅前(バス)の整備

高松市が持つ「強み」を生かした「コンパクト・プラスネットワーク」のまちづくり

【高松市】高松市都市計画マスタープランについて (第3回委員会での概要)

将来都市構想図

都市計画マスタープラン(都市計画)の概要

都市計画マスタープラン(都市計画)の概要

都市計画マスタープラン(都市計画)の概要

都市計画マスタープラン(都市計画)の概要

1. ことでん新駅(太田～仏生山駅間)整備に係る考え方 (PDF: 1,794KB)

2. 高松市都市計画マスタープランについて (PDF: 429KB)

過去の情報

- 第2回委員会資料)主要駅と主要幹線道路を結ぶ道路(市道仏生山山座線)整備の実施【L=520m区間の実施】(PDF: 694KB)
- 第2回委員会資料)ことでん新駅整備(三条・太田駅間)に関する基本計画策定及び新駅(太田・仏生山駅間)基本構想の策定 (PDF: 500KB)

3 情報提供、報告

- ① 四国運輸局 : 情報提供(地域公共交通)
- ② 四国地方整備局 : 情報提供(立適・都市再生整備計画)
- ③ 香川県交通政策課 : 香川県交通需要予測調査
- ④ 高松市交通政策課 : 高松市の交通体系の再構築について
- ⑤ さぬき市 : さぬき市のGTFSデータの構築について
- ⑥ 丸亀市 : 丸亀市のまちづくりについて

